

杉並区シェイクアウト訓練を実施しました

9日、杉並区でシェイクアウト訓練（自主参加型一斉防災訓練）が行われました。区議会では昨年に引き続き、新年度予算の審議を中断し、区議会議員や区長をはじめとした出席者が訓練に参加しました。シェイクアウト訓練は、あらかじめ決められた時刻に、参加者全員が机の下などに隠れ、その場で身の安全を守る行動を取るものです。区内では、区議会以外にもおよそ220団体・4万2千人が参加しました。

シェイクアウト訓練は、東日本大震災からの翌年から毎年行っているもので、今年で6回目となります。例年は、地震発生日の3月11日に行ってききましたが、2年連続で11日が週末となったので、学校や事業所、区役所などで訓練に参加しやすくするため、今年も日程を前倒しし、3月9日の金曜日に実施することとしました。

また、例年3月11日は、東日本大震災の関連式典を開催してきたため、区議会を休止していましたが、昨年に引き続き、訓練の日程が前倒しとなったことから、区議会でも2年連続でシェイクアウト訓練が実施されました。

午前11時、予算特別委員会の審議中だった区議会委員会室でも、区内で震度6強の地震が発生し、大きな揺れに襲われた想定で訓練が始まりました。

区議会議員45名と区長をはじめとした区職員70名ほどが、それぞれが姿勢を低くし、新年度予算書で頭を覆ったり、机の下に隠れるなどして、揺れが収まるまでの時間、頭や体を守る訓練に参加しました。



参加者の一人は「いつどんなときに地震が来るかは分からない。地震が起きたらすぐに身の安全を確保する意識が大切だと感じた。」と話していました。

【報道機関 問い合わせ先】

危機管理室防災課：TEL：3312-2111（内線）3601

総務部広報課：TEL：3312-2111（代表）